

あゆむ 子育て・教育 政策分野

人生はよく道に例えられます。人はそれぞれの道をあゆみ、また新しい命が生まれ、やがてはその世代がまた道をあゆみはじめます。

子育て・教育分野におけるまちづくりは、人生を「道」に例えました。

高島市で生まれた、また高島市を選んだ人々が、このまちで人生を「あゆみ」たくなるまちづくりに取り組みます。

施策体系

誕生から高齢期まで人生を「あゆみ」たくなるまちづくり

施策項目	方針	施策
1 魅力ある子育て・教育環境を整えます P.42	1 結婚や出産、子育ての支援体制を整えます P.43	1 総合相談窓口による子育て支援体制整備 2 妊娠・出産における経済的な支援の充実 3 医療費の助成による子育て支援 4 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制
	2 生きる力を育む乳幼児保育・教育環境を整えます P.45	1 安全で質の高い乳幼児保育・教育環境整備 2 支援内容の多様化による保育体制の充実 3 経済的な負担軽減による子育て環境の充実 4 保育人材の確保と充実
	3 家庭の姿に寄り添う子育て支援を行います P.47	1 多様な子育てができる環境の整備 2 発達への支援が必要な児童やその家庭への切れ目ない支援 3 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応
	4 安全・安心で快適な学校教育環境を整えます P.49	1 施設改修による安全快適な学校施設の整備 2 組織的な体制強化によるいじめの未然防止 3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進 4 不登校児童生徒やその家庭への支援
2 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します P.52	1 自然や人とのふれあいによる保育・教育を推進します P.53	1 自然や人とのふれあいによる活動の充実 2 高島の恵みを活用した乳幼児の食育の推進 3 乳幼児保育・教育への地域支援体制の構築
	2 地域の魅力が学べる小学校・中学校教育を推進します P.55	1 生きる力を育む小中一貫教育の推進 2 ICT環境の充実による学習意欲の向上 3 地域に根ざした教育による郷土愛の育成 4 高島産食材を活用した学校給食の推進
	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます P.57	1 生きる力を育む家庭教育力の向上 2 地域ぐるみで育む青少年教育の推進 3 高校と連携したキャリア教育の推進
	4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります P.59	1 地域の歴史や文化の情報発信と継承 2 郷土の先人に学ぶ心の教育の推進 3 地域で主体的に行動できる人材の育成 4 生涯学習のニーズに応える図書館運営

魅力ある子育て・教育環境を整えます

基本的な考え方

第1次高島市総合計画においては、児童福祉の充実と子育て支援の推進、学校教育の充実などに取り組んできました。

市民アンケートの満足度調査では、児童福祉の充実と子育て支援の推進については、満足、やや満足をあわせて52.7%で、総合的にみると満足度はやや高い項目となっています。

しかし、出生数が伸び悩む中、人口減少の中にあっても将来の人口バランスの安定化を図るためには、一定の出生数を維持していくことが必要です。

また、子育て環境の魅力化は、子育て世代の定住・移住に直結することから、自然環境とあわせた子育て支援の充実を図る必要があります。

このことから、子育て世代の満足度をさらに高めるとともに、仕事との両立や子育てに関する不安解消を図る体制整備に取り組みます。

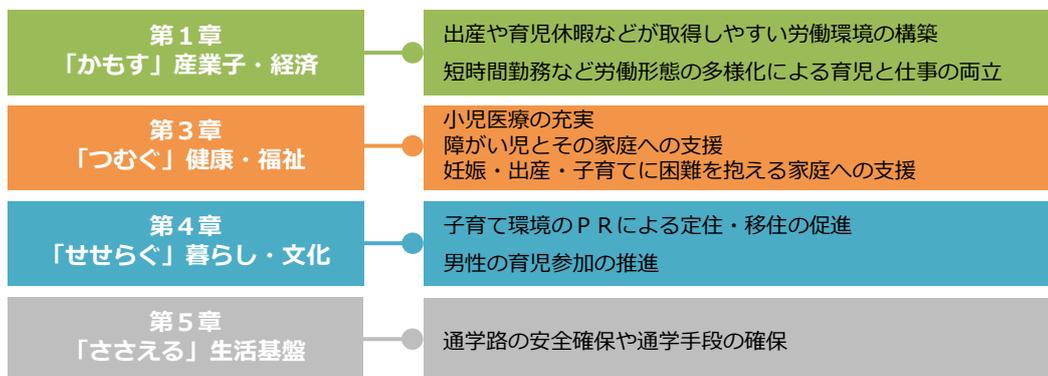
合計特殊出生率の推移



出典：第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

政策間連携の視点

子育て環境を充実させることと仕事における子育てへの理解の促進を図ることは、子育てをしながら経済的基盤や望むキャリアを実現するためには両輪で考える必要があります。また、男性の育児参加の推進や、子育てに困難を抱える家庭への支援、医療体制の構築や通学路の安全確保など、子どもを中心とした各機関の連携による総合的な子育て環境を構築するとともに、子育て環境の魅力を伝え定住・移住につなげていく取り組みも必要です。



市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

個人でできること

- ・学童保育の運営に直接的に協力し、保育者と多くコミュニケーションをとる
- ・子どもの情報を提供する
- ・ファミリーサポートセンター（支援制度）を積極的に活用する
- ・相談相手になる
- ・障がいについての正しい知識と個性を理解する

地域でできること

- ・学童保育事業に協力・支援し、交流を持つ
- ・地域で情報を共有する
- ・出産の経験や子どもの大切さが話し合える場を設ける
- ・地域内の子ども達と仲良くする
- ・スポーツ少年団と連携して子育てサポートをする
- ・相談の会を設け、話し合いの場を提供する
- ・地域が障がいのある子どものサポーターとなり、養護学校の活動などに参加・協力する
- ・障がいのある子も参加しやすい行事を増やす

基本構想

産業・経済

子育て・教育

健康・福祉

暮らし・文化

生活基盤

行政経営

資料集

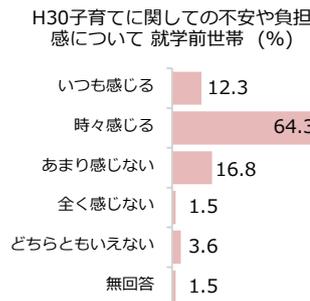
1. 魅力ある子育て・教育環境を整えます 施策項目

方針1

結婚や出産、子育ての支援体制を整えます

現 状

- 年間の出生数は、平成17年は407人でしたが、令和元年は279人と年々減少傾向にあります。*出典：人口動態統計、住民基本台帳（高島市統計書）
- 独身の方に今後の結婚意向を聞いたところ、いずれ結婚したいと回答された方が、20歳代で87.1%、30歳代で51.6%となっています。また、独身でいる理由は、「適当な相手にめぐり合わないため」が49.1%、「独身の自由を失いたくない」が21.4%、「結婚する必要性をまだ感じない」が19.7%となっています。
*出典：平成30年度高島市若者・子育て世代意識および企業等の取り組み状況調査
- 子育てに関しての不安や負担について、「いつも感じる」と「ときどき感じる」を合わせた「感じる」は、就学前世帯が76.6%となっています。*出典：平成30年度子ども・子育て支援に関する二一ス調査



課 題

- 結婚・出産・子育てに関する情報を得やすい環境を整え、結婚や出産の希望が叶う体制整備が必要です。
- 出産や子育てに関わる不安を払拭し、安心して子育てに臨むことができる環境を整えることが必要です。

◆印は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した取り組みです

1

総合相談窓口による子育て支援体制整備

結婚や出産・子育てに関わる情報を提供・発信する総合相談窓口を設置し、婚姻数の増加や出生数の増加を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 結婚に関する情報提供の推進
- ・ 婚活事業への支援の拡充
- ・ 子育て支援情報の発信の充実
- ・ 地域子育て支援センター（子育て支援室）との連携
- ・ 子育て親子つどいの広場との連携
- ◆ 子育てアプリを活用した情報提供
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

めざす姿	年間婚姻数（人口動態調査）				目 標	
	実 績				R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
	H29（計画開始年）	H30	R1	R2	150件	150件
	191件	189件	163件	152件		
関連個別計画	まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策	P.83-84 男女共同参画					



◆印は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した取り組みです

2 妊娠・出産における経済的な支援の充実

妊婦健康診査への助成や不妊症・不育症の治療助成など家庭への経済的な支援を充実し、妊娠・出産・子育ての希望が叶う体制を整えます。

主な取り組み内容

- ◆ 妊婦健診助成の推進
- ・ 不妊症、不育症治療助成の推進
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

めざす姿		年間出生数（人口動態調査）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
279人	291人	279人	248人	300人	300人
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 健康福祉部 健康推進課	
連携施策					

3 医療費の助成による子育て支援

子どもに係る医療費を助成し子育て世代の経済的負担を軽減することで、安心して子育てできる環境を整えます。

主な取り組み内容

- ◆ 子ども医療費助成事業

めざす姿		年間出生数（人口動態調査）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
279人	291人	279人	248人	300人	300人
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 市民生活部 保険年金課	
連携施策 P.77-78 医療					

4 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制

保健師などによる妊婦相談や新生児訪問を実施し切れ目のない相談・見守り体制を維持し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 保健師等による新生児全数訪問の実施
- ・ 乳幼児健康診査・相談・離乳食教室の開催
- ・ 医療機関との連携体制の構築
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

めざす姿		妊娠・出産について満足している方の割合（4か月児健診時アンケート）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
86.9%	90.4%	88.7%	85.3%	90.0%	90.0%
関連個別計画 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 健康福祉部 健康推進課	
連携施策 P.83-84 男女共同参画					

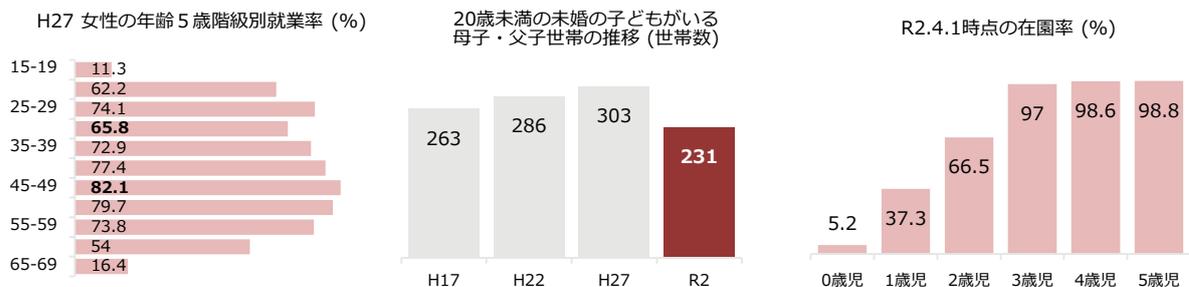
1. 魅力ある子育て・教育環境を整えます 施策項目

方針3

家庭の姿に寄り添う子育て支援を行います

現 状

- 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している児童数の全児童に占める割合は、全体児童数の減少に関わらず増加傾向にあります。*出典：高島市統計書
- 平成27年度における女性の就業率をみると、概ね小学生までの子育て期間中であると推察される30～34歳における就業率が20～29歳や35～59歳よりも低くなっています。また、40～49歳が最も高く、これは全国や滋賀県の就業率を上回っています。*出典：国勢調査
- 平成17年に263世帯であった20歳未満の未婚の子どもがいる母子・父子世帯は、平成27年まで増加していたものの、令和2年の調査では一転して231世帯に減少しています。*出典：国勢調査
- 保育料の完全無償化の影響等により、女性の就業者数の向上、入園希望園児の低年齢化が進んでいます。



課 題

- ひとり親や就労形態など多様化する家庭の姿を認識し、子育てに必要な経済的な基盤を確立しながら安心して子育てできる環境を整える必要があります。
- 発達の支援が必要な子どもやその親が、地域で安心して生活し、将来を見据えて自立に向かうことができる環境を整える必要があります。
- 児童虐待を未然に防止するため、子育て支援の充実や相談体制の充実を図るとともに、深刻な事態を避けるため、地域ぐるみでの見守り・関わりにより早期発見・早期対応を図る必要があります。
- それぞれの家族が望む子育てが実現できる環境整備が必要です。

◆印は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した取り組みです

1

多様な子育てができる環境の整備

仕事をしながら子育てを行うための支援制度を維持する一方、在宅育児への支援を推進します。

主な取り組み内容

- ・ ひとり親家庭の支援の充実
- ・ 病児保育の利用促進
- ・ 放課後児童健全育成事業
- ・ 子育て短期支援事業の充実
- ◆ 在宅育児支援事業
- ◆ ファミリーサポートセンター事業
- ◆ 保育園・幼稚園運営事業

めざす姿		待機児童数			
		実 績		目 標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
0人	28人	27人	58人	26人	0人
関連個別計画	まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん			実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策	P.21-22 雇用環境		P.83-84 男女共同参画		

1. 魅力ある子育て・教育環境を整えます 施策項目

方針2

生きる力を育む乳幼児保育・教育環境を整えます

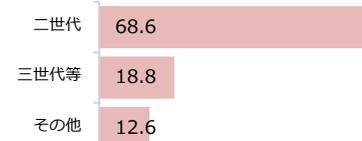
現 状

- 理想より最終的に持つ子どもの人数が少ないと回答した人に、妨げになっている原因を聞いたところ「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が61.5%と最多で、次いで「収入上の問題があるから」が32.6%となっており、子育てに対する経済的負担感が大きくなっています。 *出典：第2次総合計画策定のための市民アンケート調査
- 就学前の子どもがいる家庭において、同居の世帯類型が「二世帯」と答えた世帯は68.6%となっています。また、母親と父親の就労状況について、フルタイム・パートに関わらず共働きであると答えた世帯は65.2%となっています。 *出典：子ども・子育て支援に関するニーズ調査
- 就学前の子どもがいる家庭において、フルタイムで就労している母親の68.1%、父親の85.6%が18時以降に帰宅すると答えています。 *出典：子ども・子育て支援に関するニーズ調査
- 保育料の完全無償化の影響等により、女性の就業率の向上、入園希望園児の低年齢化が進んでいます。

H27 理想より予定の子どもの人数が少ない場合の要因 (%)



H30 就学前の子どもがいる世帯の同居の世帯類型 (%)



課 題

- 希望する人数の子どもを持つために、子育てに対する経済的負担軽減を継続し、希望が叶えられる子育て環境を整える必要があります。
- 乳幼児保育・幼児教育環境を向上させるとともに、多様化する保育のニーズに応じた保育体制を整える必要があります。
- 乳幼児期に必要なあそび体験をプログラムできる人材の育成を行う必要があります。
- 待機児童をなくすための取り組みを進める必要があります。

1

安全で質の高い乳幼児保育・教育環境整備

乳幼児保育・教育共通カリキュラムの推進および研修会の実施や施設の計画的な改修を行い、保育者の資質向上を図るとともに、安全で質の高い保育・教育環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ カリキュラムの推進のための研修会の実施、研修内容の充実
- ・ 計画的な施設の改修
- ・ 幼児教育と学校教育の連携による教育力強化事業

めざす姿		乳幼児保育・教育の内容に対する保護者の満足度（あゆむ子育て・教育にかかるアンケート調査）			
		実 績		目 標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
86.6%	90.3%	92.1%	92.2%	↑	↑
関連個別計画	子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん、教育大綱			実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策					



◆印は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した取り組みです

2 支援内容の多様化による保育体制の充実

一時預かり、延長保育、低年齢児保育など多様化する保育ニーズへの対応を行い、必要なときに利用できる保育体制を整えます。

主な取り組み内容

- 多様な子ども・子育て支援の充実
- 一時預かりの充実
- 延長保育の充実

めざす姿		年間出生数（人口動態調査）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
279人	291人	279人	248人	300人	300人
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策 P.83-84 男女共同参画					

3 経済的な負担軽減による子育て環境の充実

保育料の完全無償化を継続するとともに、家庭で育児を行っている世帯への支援を推進し、魅力ある子育て環境を整えます。また、小中学校の学校給食費も無償化を継続し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

主な取り組み内容

- ◆ 保育料および小中学校給食費の無償化の継続
- ◆ 通園バスや給食の無料化の継続
- ◆ 保育園・幼稚園運営事業
- ◆ 特定教育・保育入所事務
- ◆ 在宅育児支援事業

めざす姿		年間出生数（人口動態調査）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
279人	291人	279人	248人	300人	300人
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策					

4 保育人材の確保と充実

保育士や幼稚園教諭、保育補助等、保育人材を確保し、教育・保育の環境整備を進めます。

主な取り組み内容

- ◆ 保育士確保対策事業

めざす姿		待機児童数			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
0人	28人	27人	58人	26人	0人
関連個別計画				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策 P.21-22 雇用環境					



2 発達の支援が必要な児童やその家庭への切れ目のない支援

発達の支援が必要な児童が安心して生活できるよう、18歳までの切れ目のない支援体制を構築し、その後においても地域で自分らしく生活できる支援につなぎます。

主な取り組み内容

- 相談体制の充実
- 発達に課題のある児童の早期支援
- こども園、保育園、幼稚園や各学校との連携による児童と保護者への支援
- 地域に向けた啓発

めざす姿						児童発達支援センターへの相談から支援につながった件数	
実績				目標			
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)		
-	-	-	372人	382人	387人		
関連個別計画 障がい児福祉計画				実行部署： 子ども未来部 児童発達支援センター			
連携施策 P.21-22 雇用環境 P.69-70 障がい者福祉 P.83-84 人権意識							

3 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応

児童虐待に関する啓発活動や研修会の開催、相談窓口の充実・周知により、児童虐待の未然防止を図るとともに早期発見・早期対応体制を構築します。

主な取り組み内容

- 虐待防止に向けた啓発や研修会の充実
- 面接や訪問、電話での相談や支援の充実
- 相談体制の充実

めざす姿						児童虐待相談実人数	
実績				目標			
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)		
307人	303人	230人	211人	220人	214人		
関連個別計画 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 子ども未来部 子ども家庭相談課			
連携施策							



基本構想

産業・経済

子育て・教育

健康・福祉

暮らし・文化

生活基盤

行政経営

資料集

1. 魅力ある子育て・教育環境を整えます 施策項目

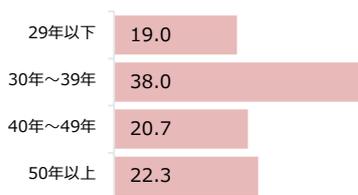
方針4

安全・安心で快適な学校教育環境を整えます

現 状

- 市立小学校・中学校施設（棟）の築年数は、50年以上が22.3%、40年～49年が20.7%と老朽化が進んでいます。
- 平成28年度から5年間で、市内小学校の児童数は11%程度、市内中学校の生徒数は16.5%程度減少しています。*出典：学校基本調査
- 令和元年度における県内の全小学校児童のうち不登校児童数は0.9%、全中学校生徒のうち不登校生徒数は3.43%となっています。*出典：諸課題調査
- 令和3年度の市内の小中学校における特別支援学級は37学級あり、1学級最大8人までという小集団で学習しています。通常の学級においても配慮や支援を必要とする児童生徒が在籍し、授業等で必要な支援を行っています。*出典：高島市教育委員会資料

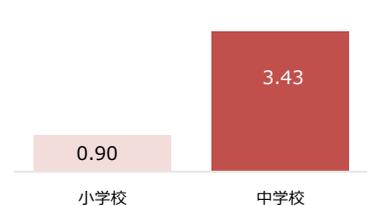
R1小中学校施設の築年数割合 (%)



市内小中学校の児童・生徒数の推移 (人)



R1 県内の不登校児童・生徒数の割合 (%)



課 題

- 子どもは地域の宝であるという認識のもとに、すべての子どもにとって安全で快適に安心して学習できる学校環境を実現させるため、環境や体制の整備を進める必要があります。
- いじめを絶対許さないという意識を醸成し、いじめの未然防止を図ることはもちろん、初期段階のいじめを早期に認知し対応する組織体制をつくる必要があります。
- 不登校や発達障がいなどの理解を深めるとともに、子ども自身やその家族の支援を行う必要があります。

1

施設改修による安全快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設や設備の計画的な大規模改造（長寿命化改良）

や改修を行い、安全で快適な学校教育環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 校舎等の大規模改造の実施
- ・ 設備等の改修の実施
- ・ トイレ改修の実施
- ・ 保健衛生用品の購入

めざす姿		トイレ改修の完了校（累計／小中19校中）			
		実 績		目 標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
10校	11校	12校	12校	12校	14校
関連個別計画 教育大綱				実行部署： 教育指導部 学事施設課	
連携施策					



2

組織的な体制強化によるいじめの未然防止

学校・園・行政が連携し、いじめに対するための組織体制を強化し、いじめの未然防止を図るとともに、早期発見・早期対応に努めます。

主な取り組み内容

- いじめ対策および未然防止のための取り組みの推進
- 専門家の配置による相談体制の充実
- 教員研修の充実

めざす姿		いじめの状況が解消した割合（解消数／認知数、引き続き支援が必要なケースを除く）			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
95.0%	95.0%	98.0%	98.0%	100%	100%
関連個別計画 教育大綱		実行部署： 教育指導部 学校教育課			
連携施策 P.83-84 人権教育					

3

多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

学校に教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援を行います。また、児童発達支援センター「エール」と連携し、適切な支援につながる見立てや助言を行える相談体制を整えます。

主な取り組み内容

- 特別支援教育の推進
- 教育支援員の派遣
- 巡回相談体制の充実

めざす姿		教育支援員が対応した児童生徒の割合			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
6.0%	6.0%	8.0%	13.0%	14.0%	16.0%
関連個別計画 教育大綱、子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん		実行部署： 教育指導部 学校教育課			
連携施策 P.69-70 障がい者福祉					

4

不登校児童生徒やその家庭への支援

不登校児童生徒やその家庭に対して、相談や支援を行う窓口を設置し、学校復帰や社会的自立を図ります。

主な取り組み内容

- 教育支援センターにおける適応指導の充実
- 教育相談・課題対応室における相談活動の充実
- 別室登校児童生徒への支援の充実

めざす姿		教育支援センター「スマイル」と教育相談・課題対応室の利用児童生徒で学校復帰を果たした人数の割合			
		実績		目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
83.0%	71.0%	73.0%	67.0%	70.0%	70.0%
関連個別計画 教育大綱		実行部署： 教育指導部 学校教育課			
連携施策					

郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します

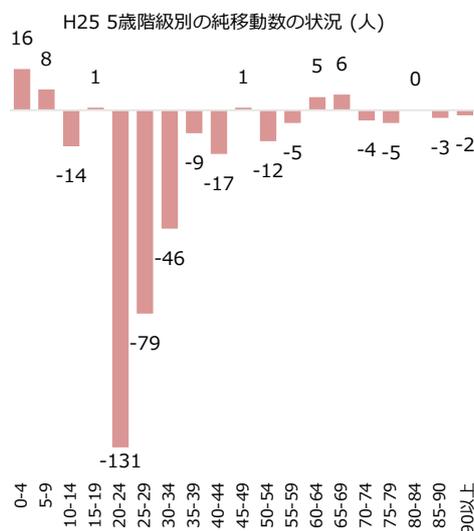
基本的な考え方

第1次高島市総合計画においては、幼児教育の充実、小中一貫教育の推進や地域に根ざした特色ある学校づくりなどに取り組んできました。

しかしながら、転出超過傾向が続き、大学等へ進学するために市外に転出した人が、再び転入する動機を生み出せていない状況が推察されます。

これには産業・経済分野において、希望する雇用の場を確保するとともに、子育て・教育の分野においては、地域への愛着形成を図り、高島市で活躍したいと願う人材の育成を行う必要があります。また、自己実現のために市外に転出したとしても、高島市の魅力を伝えることができる学習機会が必要です。

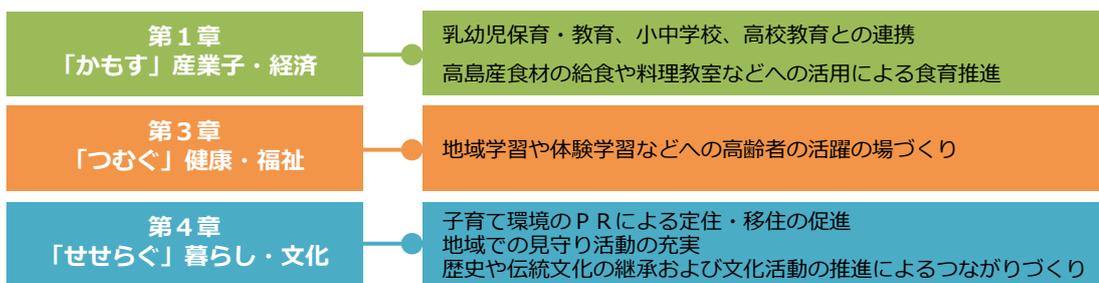
このことから、乳幼児保育・教育から小学校、中学校、高等学校、社会教育までが相互に連携し、高島市に誇りと愛着を持って、たくましく育ち合える青少年や地域人材の育成に取り組みます。



出典：住民基本台帳人口移動報告(総務省)

政策間連携の視点

保育園、幼稚園、認定こども園、小学校や中学校および高等学校は地域の交流拠点であるとの認識のもと、望ましい教育のあり方を検討しながら、保護者だけでなく地域ぐるみで関わる仕組みと意識の向上が必要です。また、事業者との連携や、高齢者の知識や経験を活かす場所づくり、歴史や文化を学ぶための資料の活用など園・学校と地域社会との多様な関係づくりを構築し、子どもたちの生きる力を育む体制づくりが必要です。



市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

個人でできること

- 自治会活動や子ども会活動に積極的に参加する
- 学校行事や学習ボランティアに積極的に参加して教育現場に関わる
- これまでの経験を次の世代に伝える
- 子どもに高島産食材の安全性を伝える

地域でできること

- 地域の運動会や夏祭りなど、子どもが関わる行事を増やす
- 見守り隊などを結成して子どもを地域ぐるみで見守る
- 地域でスクールサポーターを充実させる
- 学校との連携を深め、生徒が地域に魅力を感じる取り組みを展開する

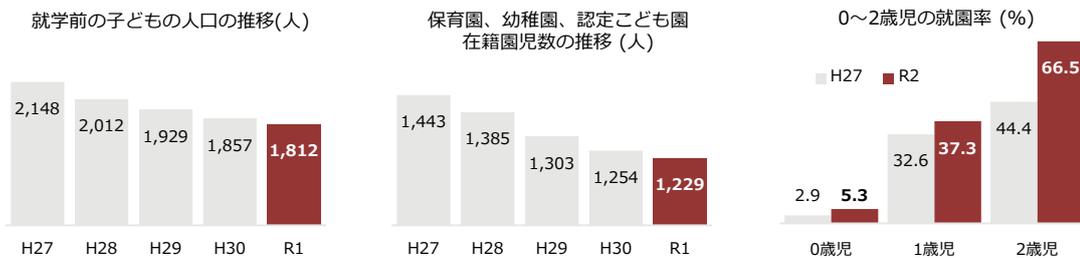
2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します 施策項目

方針1

自然や人とのふれあいによる保育・教育を推進します

現 状

- 就学前の子どもの人口は、平成27年は2,148人でしたが、令和元年は1,812人と約84.3%に減少しています
*出典：住民基本台帳
- 市内の保育園、幼稚園、認定こども園に在籍する園児数は、平成27年は1,443人、令和元年度は1,229人と減少傾向にあります。0歳児から2歳児までの就園率は増加傾向にあります。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成30年度実施）によると、身近な地域の人に期待することについて、「子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい」「子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になったりしてほしい」という意見がありました。



課 題

- 子どもが興味・関心を持てるあそびの環境構成ができるよう、保育者の人材育成と保育・教育活動への支援体制を整える必要があります。
- 高島産の食材や自然環境にある素材を活用した体験あそびなど、高島の良さを取り入れたカリキュラムの充実を図る必要があります。
- 子どもの数の減少により、あそびなどの活動における集団の規模が縮小してきているため、異年齢集団での保育や地域住民との交流を行う必要があります。

1

自然や人とのふれあいによる活動の充実

里山や身近な環境のなかで、自然にふれる遊びや異年齢・世代間の交流を取り入れ、地域環境を最大限に活用した保育・教育を推進します。

主な取り組み内容

- ・ たかしま「心育む」ぬくもり事業の推進
- ・ 乳幼児保育・教育内容の充実
- ・ あそびの環境の充実
- ・ 幼児教育・学校教育の連携による教育力強化事業

めざす姿		たかしま「心育む」ぬくもり事業への参加児童数			
実績				目標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
200人	300人	457人	440人	↑	↑
関連個別計画 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん、教育大綱				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課	
連携施策					



2 高島の恵みを活用した乳幼児の食育の推進

高島の食文化にふれる体験ができる機会を設けて、乳幼児期からの望ましい食習慣や食の重要性を学び、乳幼児期の食への関心と地域への愛着を育みます。

主な取り組み内容

- ・ 乳幼児食育の推進
- ・ 高島市乳幼児「げんきっ子」食育推進事業
- ・ 乳幼児食育推進事業
- ・ 幼児教育・学校教育の連携による教育力強化事業

めざす姿						高島産食材の利用などによる食育体験活動に取り組む園の割合	
実績				目標			
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)		
100%	100%	100%	20%	100%	100%		
関連個別計画 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん、教育大綱、食育推進計画				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課			
連携施策		P.31-32 農林水産業		P.65-66 食育			

3 乳幼児保育・教育への地域支援体制の構築

地域住民や児童・生徒・ボランティアや未就園児とその保護者など、多様な世代・多様な関わりによる地域ぐるみでの乳幼児保育・教育の支援体制を構築します。

主な取り組み内容

- ・ 地域支援体制の構築
- ・ 地域連携活動の推進
- ・ 地域子育て支援センター事業
- ・ つどいの広場事業
- ・ 幼児教育・学校教育の連携による教育力強化事業

めざす姿						園と小学校・中学校との交流事業延回数	
実績				目標			
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)		
200回	200回	200回	0回	160回	160回		
関連個別計画 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん				実行部署： 子ども未来部 子育て支援課			
連携施策		P.67-68 高齢期生きがい		P.81-82 市民活動			



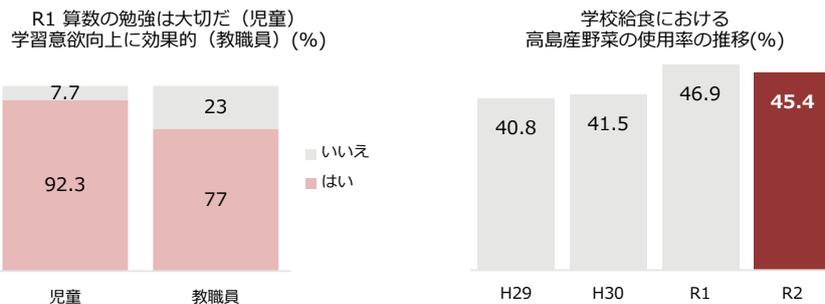
2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します 施策項目

方針2

地域の魅力が学べる小学校・中学校 教育を推進します

現 状

- 小中一貫教育について、令和元年度、小学生の教科担任制に関するアンケート調査によると「算数の勉強は大切だ」と回答した児童は92.3%で、「小中一貫教育は児童生徒の学習意欲の向上に効果があった」と回答する教職員は77%でした。*出典：高島市教育委員会資料
- 全国的な学習状況調査では、小学生・中学生ともに「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合が、全国平均を上回り、地域とともにある学校づくりが進みつつあります。
- ICTの効果的な活用により、学び方を改革し、主体的・対話的で深い学びの実現とともに個別最適な学び、協働的な学びを推進しています。
- 令和3年度より学校給食費の無償化し、地場産野菜を生かした安心安全な学校給食を提供しています。



課 題

- 小中一貫教育の効果を学力や体力の向上に結びつけるため、各学校の状況に応じた特色ある教育の推進を図る必要があります。
- 時代に応じた情報活用能力を育成するため、ICT機器の計画的な整備・更新を行うとともに、さまざまな学習場面で効果的に活用するために、教員の指導力の向上を図ることが必要です。
- 地域の特色を生かした教育活動を展開し、地域への愛着をより一層深める必要があります。
- 市外高等学校への進学が増加傾向にあることから、市内高等学校と連携し2校の魅力伝える機会をもつ必要があります。

1

生きる力を育む小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導や生徒指導を

行い、確かな学力と豊かな人間性・たくましい心身を育てます。

主な取り組み内容

- ・ 各中学校区による特色ある小中一貫教育の推進
- ・ 高等学校との連携

めざす姿	学習意欲 (児童・生徒へのアンケート調査)					
	実 績			目 標		
	H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
基礎調査		95.4% (小) 77.2% (中)	94.0% (小) 78.0% (中)	91.3% (小・国語) 85.0% (小・算数) 84.7% (中・国語) 84.0% (中・数学)	90.0% (小) 80.0% (中)	95.0% (小) 85.0% (中)
関連個別計画	まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱				実行部署： 教育指導部 学校教育課	
連携施策						



2 ICT環境の充実による学習意欲の向上

ICT機器の計画的な整備や更新を行うとともに、効果的な活用に向けた指導力向上のための研修を実施し、児童生徒の学習意欲をより高めめます。

主な取り組み内容

- ICT機器活用による授業改善や学び方改革、個別最適な学び、協働的な学びの推進
- ICT活用研修
- ICTを活用したオンライン学習や遠隔地との合同学習

めざす姿 「ICTを活用しているか」よく・時々活用している割合（指導力調査：教員へのアンケート調査）					
実績				目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
59.0%（小） 52.0%（中）	73.0%（小） 75.0%（中）	85.0%（小） 88.0%（中）	83.0%（小） 83.0%（中）	90.0%（小） 90.0%（中）	95.0%（小） 95.0%（中）
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱				実行部署： 教育指導部 学校教育課	
連携施策					

3 地域に根ざした教育による郷土愛の育成

自然体験や歴史・文化・人物を学ぶ活動・職場体験など地域の特色を学ぶ教育を積極的に推進し、夢や希望を育むとともにふるさとを愛し守ることを育てます。

主な取り組み内容

- 地域の自然や文化遺産を生かした特色ある教育活動
- 先覚の教えを学ぶ学習活動
- 系統的・継続的なキャリア教育の推進

めざす姿 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」（児童・生徒へのアンケート調査）					
実績				目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
42.9%（小） 28.2%（中）	48.7%（小） 32.5%（中）	58.8%（小） 35.4%（中）	58.6%（小） 52.5%（中）	60.0%（小） 54.0%（中）	70.0%（小） 60.0%（中）
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱				実行部署： 教育指導部 学校教育課	
連携施策 P.29-30 地場産業 P.31-32 農林水産 P.85-86 地域文化 P.87-88 水環境					

4 高島産食材を活用した学校給食の推進

高島産食材を使用した安全、安心な給食を提供するとともに、高島の特色を生かした学校給食の充実と食育を推進します。

主な取り組み内容

- 学校給食センターの運営
- 食育の推進
- アレルギー対応の継続
- 学校給食費の無償化

めざす姿 学校給食における高島産野菜の重量ベースでの使用率					
実績				目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
40.8%	41.5%	46.9%	45.4%	44.0%	45.0%
関連個別計画 教育大綱、農畜産業・水産業振興戦略プラン、食育推進計画				実行部署： 教育指導部 学校給食課	
連携施策 P.31-32 農林水産 P.65-66 食育 P.85-86 地域文化					

2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します 施策項目

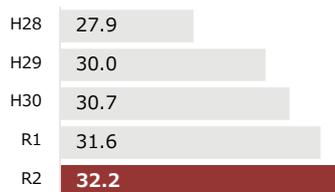
方針3

地域全体で青少年を育む体制を整えます

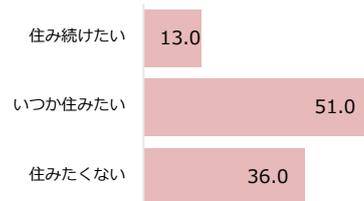
現 状

- 市内中学校の生徒が卒業後、市外の学校へ進学する割合は、平成28年度は27.9%、平成30年度は30.7%に、令和2年度は32.2%と増加しています。*出典：高島市教育委員会資料
- 市内の中学校では在籍生徒数の規模によって2～13種の部活動が行われ、地域のスポーツ団体等を含めると多くの生徒がいずれかに所属して活動しています。*出典：高島市教育委員会資料
- 令和2年度に実施した高校2年生へのアンケート調査では、将来高島市に「住みたい、いつか住みたい」と回答した割合が64.0%となっています。

中学校卒業後に市外へ進学する生徒数の推移(%)



R2 高校生アンケート
「将来高島市に住みたいですか？」(%)



課 題

- 教育の原点である家庭での教育や、地域と子どもの関わり合いを見直し、地域ぐるみで子どもを育てる環境をつくる必要があります。
- 地域ぐるみで青少年の活動を理解し、青少年の育成に参加できる支援や連携の体制づくりを行う必要があります。
- 地域・学校・家庭のつながりの中で青少年を育み、社会性を身につけた行動力あふれる人材を育成する必要があります。
- 青少年に地域の魅力を学ぶ機会を提供することで、地域を支える人材を育成するなど持続可能な地域づくりに取り組む必要があります。

1

生きる力を育む家庭教育力の向上

家庭が、子どもの生きる力の基礎を育めるよう、講座や研修会を市の関係部局と連携して開催するなど家庭教育力の向上に取り組みます。

主な取り組み内容

- ・ 家庭教育講座の開催
- ・ 学習機会の提供

めざす姿		「学びに満足している」と回答した割合（講座終了時の参加者アンケート）			
		実 績		目 標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
56.5%	—	72.1%	80.0%	80.0%	80.0%
関連個別計画	教育大綱	実行部署： 教育総務部 社会教育課			
連携施策	P.83-84 社会環境				



◆印は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した取り組みです

2 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

地域と連携した青少年の体験活動を推進するとともに、青少年団体への支援を行い、活動の活性化を図るなど青少年を地域全体で育む活動の充実に努めます。

主な取り組み内容

- ・ 地域学校協働活動の充実
- ・ 青少年体験活動の活性化
- ・ 成人式、(仮称)二十歳のつどいの開催

めざす姿 全国学力・学習状況調査において「地域行事に参加している」と回答した割合（上段：小学6年生、下段：中学3年生）					
実績				目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
84.4%（小） 58.5%（中）	64.4%（小） 84.6%（中）	83.5%（小） 60.3%（中）	77.0%（小） 56.2%（中）	85.0%（小） 85.0%（中）	85.0%（小） 85.0%（中）
関連個別計画 教育大綱				実行部署： 教育総務部 社会教育課	
連携施策 P.81-82 市民活動					

3 高校と連携したキャリア教育の推進

人口減少が加速化する現状において、地域の将来を支える人材を育成するため、地域との連携により高校生の郷土愛を深め、主体的な進路選択やキャリア形成を図ります。

主な取り組み内容

- ◆ 地域連携による高校生キャリアデザイン事業
- ・ 高校生キャリア教育推進事業サポート業務
- ・ Work Life Story Expo
- ・ 高校生向け企業情報誌の作成

めざす姿 将来高島市に住みたい、いつか住みたいと回答した高校2年生の割合					
実績				目標	
H29（計画開始年）	H30	R1	R2	R3（計画中間年）	R8（計画終了年）
—	—	52.2%	64.0%	65.0%	67.0%
関連個別計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略				実行部署： 市民生活部 市民協働課	
連携施策 P.21-22 企業活動 P.23-24 農業 P.25-26 林水畜産業					



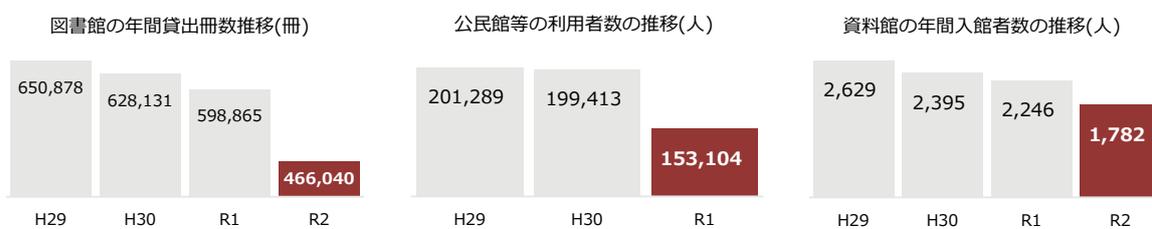
2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します 施策項目

方針4

地域を知り地域に学ぶ機会をつくります

現 状

- 高島市立図書館の一人当たりの年間貸出冊数は、令和元年度は11.2冊で、これは人口4万人以上5万人未満の市立図書館において全国2位となっています。*出典：日本の図書館
- 公民館等で行われる教室等の数は、平成26年度の61教室から令和元年度は51教室に減少しており、公民館の利用者数も減少傾向にあります。*出典：高島市統計書
- 地域の文化財を収蔵、展示している公立の資料館は3館あります。



課 題

- 生活に密着した学びや地域課題の解決に向けた学びができる機会を提供し、その成果を生涯にわたって活用できる環境をつくる必要があります。
- 公民館は、社会教育の拠点施設として、地域の特色を活かした学習活動に取り組むほか、学びを地域社会に生かせる人材づくりに取り組む必要があります。
- 文化財の価値や魅力を広く発信していく必要があります。

1

地域の歴史や文化の情報発信と継承

文化財に関する講座や学習会などを開催するとともに、資料館機能を充実し、地域が持つ魅力を学ぶ機会を提供することで、地域の歴史や文化の継承を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 資料館の運営、機能の充実
- ・ 講座、学習会などの開催
- ・ ガイドブックの作成

めざす姿		資料館の年間入館者数			
実 績				目 標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
3,129人	3,250人	2,532人	1,782人	2,300人	2,300人
関連個別計画 教育大綱、文化振興基本計画、文化財保存活用地域計画				実行部署： 教育総務部 文化財課	
連携施策		P.85-86 伝統文化			



2 郷土の先人に学ぶ心の教育の推進

中江藤樹先生をはじめとする郷土の先人の教えから、誠実さや素朴さ、温かさ、粘り強さなどを学ぶことで、思いやりの心を育む心の教育を推進します。

主な取り組み内容

- ・ 中江藤樹記念館の運営
- ・ 先人顕彰団体への支援

めざす姿		中江藤樹記念館の入館者数			
実績				目標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
5,438人	6,250人	5,592人	2,812人	5,600人	5,600人
関連個別計画 教育大綱、文化振興基本計画、文化財保存活用地域計画				実行部署： 教育総務部 文化財課	
連携施策		P.83-84 人権教育 P.85-86 地域文化			

3 地域で主体的に行動できる人材の育成

地域の自然や歴史、特性や課題を学ぶ機会を提供するとともに、社会教育関係団体の活動を支援するなど学びを地域社会に生かせる人材の育成を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 公民館、社会教育施設の運営
- ・ 公民館講座教室の開催
- ・ 市民大学の開校、運営
- ・ 社会教育関係団体の支援

めざす姿		「学んだことを地域で活かしたい」と回答した人の割合 (講座終了時の参加者アンケート)			
実績				目標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
50.0%	48.0%	49.0%	55.0%	55.0%	60.0%
関連個別計画 教育大綱				実行部署： 教育総務部 社会教育課	
連携施策		P.81-82 市民活動			

4 生涯学習のニーズに応える図書館運営

多様な資料の整備による学習支援や図書を活用した生涯学習を推進するとともに、生活課題の解決や生きがいづくりに役立つ取り組みを進めます。

主な取り組み内容

- ・ おはなし会等読書振興事業の実施
- ・ 図書館利用の促進

めざす姿		市民1人あたりの貸し出し冊数 (市調査)			
実績				目標	
H29 (計画開始年)	H30	R1	R2	R3 (計画中間年)	R8 (計画終了年)
12.9冊	12.7冊	12.2冊	9.7冊	12.9冊	12.9冊
関連個別計画 教育大綱				実行部署： 教育総務部 図書館	
連携施策		P.83-84 地域社会			